

そのGCカラム選択、本当に最適ですか？

VOC・残留溶媒分析と微量分析の課題を解決するセミナー

開催日：2026年 9月16日(水) 13:00～14:15 《入退室自由》

参加申し込み締切日：2026年 9月14日(月) 17:00まで

申込URL：<https://forms.cloud.microsoft/r/Gjch17m435>

開催形式：Microsoft Teams

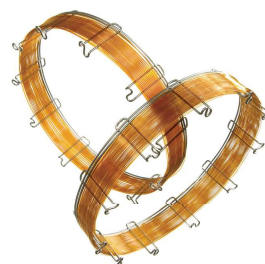
右のQRコードから申し込みへアクセス
皆さまのご参加お待ちしております！



講演①

GCカラムのキャラクタリゼーションから理解する VOC・残留溶媒分析

GCカラムのキャラクタリゼーション(選択性・極性・保持特性)を
切り口に、VOC・残留溶媒分析における
カラム選択の考え方をわかりやすく解説します。
さらに、シミュレーションを用いた分離パターンの比較を通して、
各カラムの特長や使い分けを視覚的に解説します。



講演②

その原因、もしかしてカラムじゃありませんか？

微量分析で低濃度領域における感度低下

微量成分の分析で「感度が出ない」
「低濃度側で検量線が曲がる」といった課題はありませんか？
最新のRMX GCカラムが実現する優れた不活性性能により、
低濃度領域での吸着損失を抑え、
より高い感度と信頼性の高い定量を可能にする技術をご紹介します。

